

# 相生デイサービス新聞

発行所  
相生DS  
44-4165

## 木犀 香るさんぽ道

秋の空の下 気ままに歩いてみると、  
いい香りが流れてきました。  
キンモクセイです。

足をとめて、  
束の間立ち話。

また、その水が  
に歩き出し秋の  
一日が始まりま  
した。

### 名句

秋深き  
隣は何をする人ぞ

芭蕉



高湯温泉



### — 今月の予定 —

30 (金)	鶴貝カラオケ会	※ 藤美会
27 (火)	音楽(小林様)	
23 (金)	足利製菓学校	
22 (木)	よさこいポパイ	
19 (月)	習字	
3 (土)	アカハイ ミノアカフラスカール	
5 (月)	床屋さん	
14 (水)		
22 (木)		
30 (金)		

### ご存知ですか とおかんや 十日夜

10月10日の夜。  
刈入れが終わって  
田の神が山に帰る  
といて祭る。  
東日本の風習。

### 大根おろし

いちばん辛いのはしつぽの部分。  
インチョオシネットという辛み  
のもとになる成分が多く含  
まれているため。  
目の粗いおろし器を使うよりも  
目の細かい方が辛みは強い。



席、とられました。 にやんzzz

? 恋人達のささやき  
ロマンチックな秋の夜に

か	真	お	民	お	智
つ	知	宮	子	蔦	恵
枝	子	子	子	子	子
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
貫	光	主	春	浩	政
一	太	税	樹	三	夫
	郎				

### 季節の風物詩

わらアートin越後



その男、  
「当たり」とは縁が  
なかった。  
宝くじは紙切れと  
なって破って捨てた。  
馬券は紙切れと  
なって破って捨てた。  
「ああ、破って捨てる  
には大きすぎる」  
女房を見て思った。

天声珍語  
うまく歩ける  
だろうか。  
左、右。左、右。  
落ち着いて  
歩くのだ。  
よもや、つま  
ずいてはなら  
ない。  
思い出す。  
尾瀬の木道。  
磐梯山の山道。  
いろんなところ  
をいっしょに歩  
いて来た。  
足尾の廃線の  
後をたどった。  
こともあった。  
今日はわずか  
数メートルの娘  
と歩く最後の  
道だ。  
ドアが開き、  
娘と歩きます。  
せつなく、さびし  
く、うれしく。  
先で待つ彼の  
姿がぼやけて  
きた。

ススム